

現代社会学部

FACULTY
FOTOS
KYOTOLOGOS



- 経済学部
- 経営学部
- 法学部
- 現代社会学部
- 国際関係学部
- 外国語学部
- 文化学部
- 理学部
- 情報理工学部
- 生命科学部
- アントレプレナーシップ学環

現代社会学部事務室

〒603-8555 京都市北区上賀茂本山
TEL.075-705-1724
<https://www.kyoto-su.ac.jp/>



公式LINE
@k.s.u



公式Instagram
@kyotosangyo_university



公式YouTube
@KyotoSangyoUniversity



京都産業大学
Webサイト

※本誌に登場する人物のプロフィールや教育内容、施設などの情報は取材時のものであり変更になる場合があります。

ABOUT

Faculty of Sociology

次世代型
リーダーの
ために、
社会学

社会そのものを探究する「社会学」は、多くの分野から成り立つ学問です。社会の背景にある歴史から、社会をつくる人間の心理、暮らしを支える経済まで、学びは多岐にわたります。例えば、観光客過多によるオーバーツーリズムや、高齢化社会におけるスポーツと医療・福祉分野の連携の必要性など、現代社会の諸問題に着目し、データ分析の他、時には実際に現地へ赴いて得た考察も織り交ぜながら、解決策を考えます。社会構造が多層化し、ライフスタイルが多様化する現代においては、これまでの常識や成功モデルは通用しないことから、次世代のリーダーが求められます。社会学の知識を基盤に、現代社会の本質を見抜き、他者と積極的に協働することで、より良い社会を築く力を総合的に身に付けられるのが現代社会学部です。人と人、地域社会や世界のあらゆる要素をむすぶ、解決していく。そんな「次世代型リーダー」を目指し、人をむすぶ素養から実践的な演習まで、多彩な科目を展開。独自のカリキュラムで次世代のリーダーを育成します。

詳細はWebへ



現代社会学部

現代社会学科

社会の課題を見極め、改善していく

社会学の基礎知識と調査手法を修得し、自分の関心に合わせ、専門科目を幅広く学びます。さらに「地域社会学」「人間社会学」「メディア社会学」にかかる諸問題解決のために多様な専門知識を深めます。

健康スポーツ社会学科

健康で活力ある社会を創造する

「社会学」と「健康・スポーツ学」を融合し、新しい視点で健康・スポーツの可能性と価値を追究します。充実した最新の実習設備で、高度な専門性も身に付け、健康で活力ある社会を築く力を育成します。

MAP of Keywords

多彩なキーワードが示す、現代社会学部の学びの地図。多様な知識をむすび、新たな価値をうみだす学びは、あなたの可能性を広げ、未来への扉を開きます。さあ、ここから探究の旅に出かけましょう。

Pick Up

<p>社会学</p> <p>人と社会との関わりを多角的に探り、現代社会が内包する諸問題の解決に取り組む学問です。</p>	<p>リーダーシップ</p> <p>課題の本質を見抜き、他者と積極的に協働する力を身に付けます。</p>	<p>現代社会</p> <p>複雑化・多様化する社会の構造や価値観を捉え、安定的発展を考察します。</p>	<p>健康・スポーツ学</p> <p>スポーツや運動を通して、健康や社会との関わりを探究し、心身ともに健康な社会を実現します。</p>
---	---	--	--



詳細はWebへ

FACULTY OF SOCIOLOGY

京都産業大学

社会調査入門



社会調査の意義や方法を理解するため、社会調査の種類や方法、論理、データ収集や分析までのプロセスを学び、入門的知識に関する理解や洞察を深めます。

社会学入門



社会学についての基礎的知識と社会的なものの方見方や考え方を身に付けます。具体的な社会現象や文化現象を社会学の視点から分析し、理論とむすびつけます。

現代社会の諸問題



現代社会の幅広い諸問題を取りあげ、社会のありようや社会に対する問題意識を養います。各業界から招いた講師陣を含む多様な教員が登場します。

Feature-2

広範な「社会学」を修得し、 専門分野をさらに深める



複雑化、多様化する現代社会の諸問題の解決に向けて、社会学を基礎から段階的に修得していきます。導入科目では、社会学の幅広い基礎を徹底的に学修し、現代社会への視野を広げます。修得した知識を基に、社会学を核とし、現代社会学科は「地域」「人間」「メディア」の領域を、健康スポーツ社会学科は「健康学」「スポーツ学」を学び、専門知識の修得へと展開していきます。



Feature-1

協働して目標を実現する 「リーダーシップ力」を磨く

次世代のリーダーシップには、人との協働力や課題の本質を見抜く力が求められます。「リーダーシップ科目」では、課題解決に必要な思考法や、人を引きつける話し方などのスキルを伸ばします。社会で活躍するリーダーをゲストに招いた授業で、多様なリーダーシップの在り方を学修し、社会学の専門性を生かす就業力や、社会を変えていくキャリアの在り方も考えます。

リーダーシップ理論



今は誰もがリーダーになり得る時代です。リーダーシップとは何か、その基本的な見方、考え方をさまざまな理論や具体例を用いて解き明かします。今後の大学生活、未来の社会人生活で輝くために、「自分らしいリーダーシップ」をデザインする力を学びます。

神山STYLEリーダーシップ実践



既存の概念や制度にとらわれることなく、新しい発想や価値観をうみだすことのできる「次世代にふさわしいリーダーシップ像」を獲得することを目的に、ゲストの講演や討論を行うことで、リーダーの在り方に関する事例研究を深めます。

リーダーシップスキル



公の場で感情的なアピール、論理的な説得などを組み合わせて聴衆に想いを魅力的に伝える「パブリックスピーキング」や、会議で参加者の意見を促し、相互理解や合意形成を円滑に進める「ファシリテーション」などのリーダーとして必要なスキルを学びます。

FACULTY OF SOCIOLOGY

現代社会学部

FEATURES

現代社会学部の特長

次世代のリーダー育成

現代社会学科

詳細はWebへ



DEPARTMENT OF SOCIOLOGY

社会の課題を見極め、改善していく

社会学の基礎知識と調査手法を修得し、自分の関心に合わせ、専門科目を幅広く学びます。さらに「地域社会学」「人間社会学」「メディア社会学」に関わる諸問題解決のために多様な専門知識を深めます。

POINT 学科のポイント

Point 01 専門の学びを深める3つのプログラム

2年次以降、各自の関心や将来の進路に合わせて、履修プログラムを登録することができます。なお、取得単位や研究活動など、一定の要件を満たすと、プログラムを修了したことを認証する「オープンバッジ(デジタル証明)」が発行されます。

地域社会学プログラム

国内外の地域の特色を学ぶだけでなく、地域社会で起きている社会現象や社会構造を多面的に理解し、地域の課題解決策や多文化共生などについて考える科目が配置されています。



PickUp 授業

環境社会学

人間社会と自然環境の関係を多様な側面から検討し、地域における人間の生活実践から見た環境の意味を考察することで、持続可能な地域社会の実現という課題の理解を目指します。

人間社会学プログラム

家族・ジェンダー・教育・心理・労働などの幅広い視点で、現代社会における人と人との多様な関係性と新しい可能性にアプローチすることができる科目が配置されています。



政治社会学

選挙権年齢の引き下げで身近になった政治と社会の関係について、「ポピュリズム」や「若者の政治参加」などの具体的な社会問題を取り上げ、根拠(データ)に基づきながら学びます。

メディア社会学プログラム

テレビ・広告・マンガ・インターネットなど、人や社会を動かす力を持つメディアの変わらない本質と、変わりゆく方向性を見極めたり、情報発信や表現の方法を学べる科目が配置されています。



広告社会学

日本と海外の広告を比較すると、文化の違いや多様な価値観が見えてきます。この講義では「宣伝」だけではなく「文化」として広告を捉え、その見方を社会学の視点で学びます。

Point 02 データ社会学プログラム

ビッグデータやAIなど、私たちの身近にも「データ」があふれていますが、社会学においてもデータを駆使して社会を理解する必要性が高まってきました。そこで新たに「データ社会学プログラム」を設置します(地域社会学・人間社会学・メディア社会学の各プログラムと並行して登録可)。単に「データを扱う」だけでなく、人間の感性を生かして「データから社会を読み取る」力を身に付けることができるプログラムであることが特長です。



多角的な視点から物事をとらえる力が身に付いた

渡邊 光 現代社会学科 3年次(大阪府・大商学園高等学校出身)

この学科を選んだのは、さまざまな社会問題に関する学びを深め、視野を広げることが、自分自身の将来を考えることにつながると思ったからです。所属するゼミナールでは、グループワークや発表の機会が多く、自分の意見を正しく伝え、他者の考えを理解するという社会人に必須の力が身に付いたと感じます。常に視野を広く持ち、社会を多角的に捉えることで、物事の本質を見る目を養いたいと考えています。



4-YEAR STUDIES

4年間の流れ 社会学の学びをベースに、自ら行動する人を育む4年間

1st YEAR →

社会学の基礎とリーダーシップ力を身に付ける

学部共通導入科目

社会学の学修の基盤となる科目です。知識を修得し、現代社会への視野を拡大します。

科目例

- 社会学入門
- 現代社会の諸問題



基盤科目

学部共通

社会調査に関する知識・技能を学修します。

科目例

- 社会調査入門
- 社会調査方法論



リーダーシップ科目

- リーダーシップ理論
- 地域デザインとリーダーシップ
- 現代社会とキャリア
- リーダーシップスキルA・B
- 神山STYLEリーダーシップ など



2nd YEAR →

実践的な科目がスタート、秋にはゼミナールも始まり、学科ごとの専門的学びへ

学部共通導入科目

2年次から3つのプログラムとデータ社会学プログラムの登録開始
2年次から各自の関心や将来の進路に合わせてプログラムを登録。
3年次からは各プログラムの展開科目を中心に専門をさらに深めます。

科目例

地域社会学プログラム

科目例

- 環境社会学
- 公共政策論
- 観光社会学
- 文化人類学
- 京都環境論
- 国際NGO論
- 多文化共生論
- 地域デザイン論 など

科目例

人間社会学プログラム

科目例

- 学校教育と社会
- 現代社会と宗教
- ジェンダー論
- 政治社会学
- 社会階層論
- ホスピタリティと企業活動
- 人口社会学 など

科目例

メディア社会学プログラム

科目例

- 文化社会学
- ポピュラー・カルチャー論
- メディア産業論
- 広告社会学
- ファン文化論
- 地域社会とメディア
- マンガ文化論 など

科目例

データ社会学プログラム

科目例

- 社会ネットワーク論
- エスノグラフィ
- デジタル社会学
- 文化と感性のデジタル解析 など

基盤科目

学部共通

- データ分析
- 社会統計学
- 量的調査法
- 質的調査法
- 社会調査実習
- 社会学英語セミナー など

学科専門

- 地域社会学
- 人間社会学
- メディア社会学 など

2年次秋学期からゼミナールが開始

演習: 学科特化型で自身の専門領域を深く研究

プロジェクト演習: 学科横断型で地域と協働し課題解決に挑戦

卒業研究テーマ例

- YouTubeでの広告動画のマーケティング効果
- 震災復興過程へのマス・メディアの報道姿勢
- ライブ配信番組の制作
- 文学作品から見る京都
- ジェンダーと教育
- 炎上したCMにおけるジェンダー表象とその後の変化
- 「京都丹波・あゆ街道」の新たな展開
- ベトナム人の食べ残しもったいない精神は日本人だけか
- など



詳細はWebへ

健康スポーツ社会学科

詳細はWebへ



DEPARTMENT OF SPORTS SOCIOLOGY AND HEALTH SCIENCES

健康で活力のある社会を創造する

「社会学」と「健康・スポーツ学」を融合し、新しい視点で健康・スポーツの可能性と価値を追究します。充実した最新の
実習設備で、高度な専門性も身に付け、健康で活力ある社会を築く力を育成します。

POINT 学科のポイント

Point 01 最先端の設備が充実

健康・スポーツを科学的に追究するための高度な実験・実習設備が充実しています。授業やゼミナール活動の中で、さまざまな角度からデータを
収集・解析。健康・スポーツの可能性を新たな視点から探っていきます。

筋機能解析装置

筋力の機能を測定する装置。ここで
得るデータは、トレーニング効果を
測る基準となり、運動処方に活用し
ます。



呼吸ガス分析装置

呼吸ガスの流量と濃度をリアルタ
イムで分析する装置。呼吸代謝機能
に関するさまざまな指標を得るこ
とができます。



食育SATシステム

カロリーや栄養素などを自動で計
算するシステム。アスリートの目的
に合わせた食生活に活用します。



三次元動作解析装置

あらゆる運動時における全身の動
作を三次元的に解析。改善点を把握
し、運動能力の向上につなげてい
きます。



Point 02 2026年度から新たに開設「スポーツ・データサイエンス・プログラム」

スポーツ現場でのデータ分析や活用が可能となる人材育成を目指した教育プログラムを開始します。このプログラムでは、「スポーツデータ
解析論」「スポーツ映像解析論」などの履修を通して専門的な知識や技術を深めていきます。そして、所定の科目を全て修得した学生には、ス
ポーツ・データサイエンスに関するスキル・知識を身に付けたことをしめすオープンバッジ(デジタル証明)が発行されます。また、理論的な
知識の修得に加え、実際のスポーツ現場でのデータ収集・分析・活用を通じて、実践的なスキルを磨くことができます。授業では映像解析や
体力測定などの手法を学びながら、競技力向上や健康管理に役立つデータの見方や使い方を身に付けます。将来的には、スポーツ指導者、ト
レーナー、体育教師、さらにはスポーツ関連企業や研究機関など、幅広い分野で活躍できる人材としての可能性が広がります。スポーツの魅
力とデータの力を融合させたこの学びは、実践力と分析力を兼ね備えた次世代の人材育成を目指すものです。



スポーツ学を深く学び、陸上競技のパフォーマンスも向上

今 絵里南 健康スポーツ社会学科 3年次(青森県・青森山田高等学校出身)

中学時代から陸上競技に打ち込み、スポーツについて深く学びたいとこの学科を志望しま
した。スポーツトレーナーや保健体育の教員免許状を取得できる点も魅力でした。印象深い
授業は、解剖学の視点から体について学ぶコンディショニング指導実習、トレーニングを科
学的・理論的に学ぶトレーニング指導実習です。得た知識を練習に生かすことで、パフォー
マンスも向上。競技と学びのつながりを実感し、学修がより楽しくなりました。

4-YEAR STUDIES

4年間の流れ 社会学を軸とした健康・スポーツ学の多様な専門知識を学ぶ

[1年次]
1st YEAR →
社会学・
健康・スポーツ学の
基礎とリーダーシップ力
を身に付ける

学部共通導入科目

社会学の学修の基盤となる科
目です。知識を修得し、現代
社会への視野を拡大します。

- 社会学入門
- 現代社会の諸問題

学科導入科目

1年次では、健康・スポーツ
を学ぶ上での基礎的な知識
や技術を修得します。

- 健康社会学
- スポーツ社会学
- スポーツ運動学
- 公衆衛生学
- 運動生理学
- 学校保健
- スポーツ実習
- 専門教育入門 など

リーダーシップ科目

- リーダーシップ理論
- 地域デザインとリーダーシップ
- 現代社会とキャリア
- リーダーシップスキルA・B
- 神山STYLEリーダーシップ など

PickUp授業



スポーツ栄養学

アスリートの競技力アップや健康的
な運動のために、どのような食事が
必要かを学びます。スポーツ競技の
特性や目的に合わせた栄養摂取を理
解し、体づくりやコンディショニン
グに役立ちます。

PickUp授業



スポーツ実習(ダンス)

ダンスの技能習得や構造を学ぶだ
けではなく、ダンスの動作のように
感覚的な事柄を言語化できる能力
も養います。また、他者が理解しや
すいように指導できることを目指
します。

PickUp授業

資格関連



保健体育授業指導実習

保健体育科の教員を目指す学生を対象に開
講しています。教員採用試験において必須
となる分野・領域を対象として、受講生自
身が、保健体育教師として授業を実施す
ることを想定し授業づくりを進め、模擬授業
を通して「計画-実践-省察」を実践します。



トレーナー実習

スポーツトレーナー資格取得を目指
す学生を対象に開講しています。学
外での現場実習を通して、スポーツ
現場におけるトレーナーの役割や心
得を学びます。



SEMINAR

ゼミナール紹介

学科の専門性をさらに深める学科特化型の「演習」
学科を超えたメンバーとプロジェクトに取り組む「プロジェクト演習」

演習



Topic :

グローバル化する日本と
「多文化共生」

Outline :

文献調査やフィールドワーク、プレゼンテーションなどを通して、現代日本の多文化共生や宗教文化について研究するゼミナールです。経験から生まれる疑問を大切にしており、学生の研究テーマは、地域社会の多文化共生、食文化、観光と宗教対応、アニメ聖地巡礼、整形、ファッションなど多岐にわたります。現場での学びを重視するため、3年次春学期からグループで社会調査を行い、現場に出て当事者の話に耳を傾けます。その人の思いや考えの深いところまで触れることで、インターネットでは得られないリアルな情報を知り、「分かったつもり」でいたことについて、理解を深めていきます。こうした実践を通して、さらに深く学ぶ姿勢、問題解決に挑む姿勢を養います。



岡井 宏文 准教授

現代社会学科

専門分野:国際社会学、宗教学、日本のイスラム社会研究、共生論

Profile :

大学ではエジプト考古学を専攻し、現地での発掘調査に参加した経験を持つ。大学院時代から日本のイスラム社会についての研究を開始。ゼミナールでは、国内外の現場に足を運ぶ学びを大事にしている。

Topic :

アスリートの競技力向上および健康の
維持増進のための栄養・食事摂取法の検討

Outline :

アスリートなど運動を行う人が、パフォーマンスを高め、安全に運動するために、どのような栄養を取るべきかを考えるのがスポーツ栄養学です。さらに、生活リズムや睡眠といった時間的要因にも注目した時間栄養学も取り入れているのがこのゼミナールの特長です。栄養学に関する論文などから基本的な知識を学んだ上で、食事調査や生体リズム、身体組成の測定などを通して研究を進めています。一方で、研究プロジェクトにも参画しており、本学で採蜜されたハチミツを使ったスポーツフードの開発を進めているところです。グループに分かれ、おいしさ、食べやすさ、持久力に役立つ機能など、それぞれの着眼点を生かしたスポーツフードの試作・試食に取り組んでいます。



松島 佳子 教授

健康スポーツ社会学科

専門分野:スポーツ栄養学

Profile :

アスリートの素晴らしいパフォーマンスに感動し、何を食えばそれが可能になるのかを知りたくて研究を始めた。国立スポーツ科学センターの研究員として、トップアスリートの栄養サポート・研究に携わった経験がある。

プロジェクト演習

学科を超え、多様な専門知識・技能を持つ仲間や指導教員と、現実社会の課題解決に挑戦します。座学と実習を繰り返し、専門知識やリーダーシップを統合して仲間と共に課題解決に取り組む力を培います。国内外で展開する6つのプロジェクトから1つ選択し、2年次から複数年かけて挑戦します。



地域の魅力や人々の生き方に触れ 自らの理想的なキャリアを発見する

変化の激しい現代社会で自律的にキャリアを形成するには、多様な人々と関係をむすび、価値観を広げることが重要です。このゼミナールでは「出会う」体験を重視した2つのプロジェクトに挑戦します。1つは、徳島県牟岐町の活性化を図る「牟岐プロジェクト」。特産品の収穫、伝統食づくりなどを通して牟岐町の文化・産業を体験します。もう1つは、多種多様な年齢や職業の方に取材・原稿執筆を行う「LaVitaプロジェクト」。作成した記事は関西圏の大学で配布されます。多くの出会いの中で自分らしい生き方を見つける。それが両プロジェクトの狙いです。



木原 麻子 准教授

現代社会学科

専門分野:キャリア開発、課題解決型授業実践(PBL)、キャリアカウンセリング

Profile :

自治体や民間企業などさまざまな職場、働き方を経験。若い人の未来を応援したいと学生のキャリア支援に取り組み今年で20年になる。現場での経験を生かした産学連携によるキャリア教育を専門としている。

Pick Up

教員の専門性とネットワークを活用する学生主体の活動

学生が関心のあるテーマで自主的に行う「ラボ活動」と、教員が掲げるテーマに共感した学生が取り組みに参加する「コラボ活動」。いずれも主体は学生ですが、「ラボ活動」は教員が専門分野からサポートし、「コラボ活動」は外部団体など教員のネットワークも生かした規模の大きな活動が可能です。

活動例

- ラボ活動
 - ・公共政策研究会
 - ・ゼミナール報告会の運営
- コラボ活動
 - ・学生を対象とした書評審査会の運営
 - ・中山間地域の農業支援事業
 - ・京産大のご観察会



学科を超え、仲間と課題解決に挑戦

SEMINAR & FACULTY



ゼミナール&教員DATA 2026年3月現在

現代社会学科

ポピュラーカルチャーとジェンダー

東 園子 准教授
専門分野: 文化社会学、ジェンダー論など

人と自然の関係

足立 薫 准教授
専門分野: 霊長類社会学、人類学など

計量社会学: データ分析から社会を読み解く

伊藤 理史 准教授
専門分野: 政治社会学、福祉社会学、社会階層論、計量社会学、社会調査法など

現代社会の多文化共生や宗教文化について考える

岡井 宏文 准教授
専門分野: 国際社会学、宗教学、日本のイスラム社会研究、共生論など

<わたし>から始まる社会学

落合 恵美子 教授
専門分野: 家族社会学、ジェンダー論、福祉社会学、アジア研究など

メディア経験の魅力と「自分の問い」を具体的に探る

鍵本 優 教授
専門分野: 社会学、メディア論、「自分」論など

文化・芸能・芸術のネットワークデータ分析: 芸能界アイドル事件から現代アートまで

金光 淳 教授
専門分野: ネットワーク科学、社会ネットワーク論(分析)、ソーシャル・キャピタル論、経済社会学、観光社会学、ブランド論など

臨床心理学と対人援助活動 ~ 現代社会をsurviveするためのpsychosocialアプローチ~

河原 省吾 教授
専門分野: 臨床心理学など

問題検出から解決までのプロセスを主導するためのスキルとマインドを備えた人材の育成

坂口 雅市 教授
専門分野: プロジェクト管理、サプライチェーンマネジメント、ビジネスネゴシエーション、データサイエンスなど

文学から見る社会

菅原 祥 准教授
専門分野: 場所の記憶をめぐる社会的な研究、ポーランド地域研究、ポーランド映画・文学研究など

教育と社会

惣脇 宏 教授
専門分野: 教育政策、教育社会学、人権とエビデンスなど

労働・人口・ジェンダー分野の社会課題の発見・分析・解決を探る

藤野 敦子 教授
専門分野: 労働社会学、人口学、ジェンダー・セクシュアリティ研究など

文化・マーケティングとしての広告

ボンサビタックサンティ ピヤ 教授
専門分野: 広告論、広告の国際比較、タイBLドラマ、メディア論、文化社会学など

人間と人間以外の存在の共生について

前川 真裕子 准教授
専門分野: 文化人類学、オーストラリアと日本、脱人間中心主義、人間と植物など

歴史と哲学から社会問題を考える

耳野 健二 教授
専門分野: 法社会学、社会哲学、法哲学など

場のデザインとソーシャル・イノベーション

宮木 一平 教授
専門分野: 場のデザインとソーシャル・イノベーション、NPO・NGO論、地域活性化、公共経営論、課題解決型・プロジェクト型教育(PBL)など

地域社会と学校

宮村 裕子 教授
専門分野: 教育行政学、社会教育行政、地域学校協働論など

マンガの社会学・ポピュラー文化研究

山中 千恵 教授
専門分野: 社会学、ポピュラー文化研究・マンガ研究など

マルチプラットフォーム・ストーリーテリング(多様なメディア表現・伝達)

脇坂 紀子 教授
専門分野: メディア、地域情報、放送政策、パブリックスピーキングなど

ベトナム村落における地域課題の解決に向けたプロジェクトの立案

加藤 敦典 教授
専門分野: 文化人類学、ベトナム地域研究など

地域の関係人口創出と活性化を通じたキャリア開発

木原 麻子 准教授
専門分野: キャリア開発、課題解決型授業実践(PBL)、キャリアカウンセリングなど

パーソナル・プロジェクトを生成AIとともに追求する

塩谷 芳也 准教授
専門分野: 社会階層論、社会調査法、計量社会学、パーソナリティ心理学、生成AIとの個人的対話など

地方都市・農山漁村活性化のための地域との協働によるコトおこしの実践

滋野 浩毅 教授
専門分野: 地域社会学、地域政策、文化政策、まちづくりなど

京都らしい地域づくり

鈴木 康久 教授
専門分野: 地域環境学、歴史地理学、水文化、公共政策など

[2026年9月開講予定]

学校教育の現状と対策

荊木 聡 教授
専門分野: 道徳教育、教育方法、教学教育など

健康スポーツ社会学

スポーツ障害・外傷からのアスレチックリハビリテーション

淡路 靖弘 准教授
専門分野: スポーツ障害、スポーツ障害予防、ラグビーなど

ライフステージから捉える運動と身体科学

石飛 博之 准教授
専門分野: スポーツ老年学、発育発達学、分子生物学など

障がいのある人のスポーツと「インクルージョン」

奥田 睦子 教授
専門分野: スポーツ社会学、アダプテッド・スポーツ論など

身体運動のメカニズム

加藤 えみか 准教授
専門分野: バイオメカニクス、運動生理学など

スポーツを科学する

高梨 泰彦 教授
専門分野: コーチング科学、スポーツバイオメカニクス、トレーニング科学、スポーツ統計学など

チームスポーツのパフォーマンス分析・評価

田村 達也 准教授
専門分野: 測定評価学、スポーツアナリティクス、コーチング学など

社会的なものとしてのスポーツをつくる/問い直す

浜田 雄介 准教授
専門分野: スポーツ社会学など

運動学習を考える

廣瀬 勝弘 教授
専門分野: 体育科教育学、スポーツ教育学など

アスリートのパフォーマンス向上のための食事摂取

松島 佳子 教授
専門分野: スポーツ栄養学など

運動生理学からみたスポーツ動作

松永 智 教授
専門分野: 運動生理学、運動医学、機能解剖学など

発達段階に応じた多様な動きの開発

與儀 幸朝 教授
専門分野: 保健体育科教育学、武道学、体力科学など

「ひと」と「まち」とよむための体育・スポーツの意義と役割を考える

渡邊 泰典 准教授
専門分野: スポーツマネジメント、応用健康科学など

子どもの身体活動促進のための環境づくり

濱野 強 教授
専門分野: 公衆衛生学、健康教育学など

… 学科横断型ゼミ(プロジェクト演習)



GRADUATE'S INTERVIEW

卒業生紹介

INTERVIEW

・ INTERVIEW ・

卒業生

三重県庁 勤務

長井 蒼太 さん

現代社会学科 2023年卒業

Q.ゼミナールの活動について教えてください。

香川県土庄町の「小豆島島唄」のPR活動に取り組み、企画立案の際の考え方や進め方、地域との連携などについて実践的に学びました。入学当初から公務員を目指しており、地域の人たちと連携を取りながら、地域の活性化に積極的に取り組めたことは、とても貴重な経験です。

Q.公務員を目指す学生に、先輩としてアドバイスをいただけますか？

公務員講座を受講するとともに、進路・就職支援センターで模擬面接や面接カードの添削などを受け、公務員に合格した先輩との交流会にも参加しました。公務員の場合、多くの勉強時間が必要ですが、自己分析の時間やいろいろな人との出会い、幅広い経験を積むことも忘れてください。

学生時代の思い出



「小豆島島唄」のPR活動では、「島内向けの取り組みも行ってほしい」という四国漁協組合の職員の方にアドバイスをいただき、地元の認知度アップを目指して少年を主人公にした絵本を製作・配布しました。

地域活性化に 取り組んだ経験が今の 仕事につながっている



詳細はWebへ

・ INTERVIEW ・

CAREERS

キャリア
サポート

文部科学省に最優秀賞と認められたキャリア実習をはじめ、入学直後から卒業まで多彩なキャリア形成支援プログラムを展開。低年次から自分のキャリアを描く機会を設け、社会で生き抜く力を育てます。就職活動では、約40人の専任スタッフが年間約12,000回の個別面談を実施するなど、きめ細かにサポート。こうして培われる資質や能力は、卒業生が就職した企業や社会からも高く評価されています。

就職率〈現代社会学部〉

98.3%

2024年度実績

資格

資格受験専門学校による講義を、特別価格で受講できます。講師は実績のある専門学校の受験対策スペシャリスト。資格サポート室とタッグを組み、資格・講座選びから合格まで徹底的にサポートします。

取得可能な教員免許状

現代社会学科	健康スポーツ社会学科
■ 中学校教諭一種免許状(社会)	■ 中学校教諭一種免許状(保健体育)
■ 高等学校教諭一種免許状(公民)	■ 高等学校教諭一種免許状(保健体育)

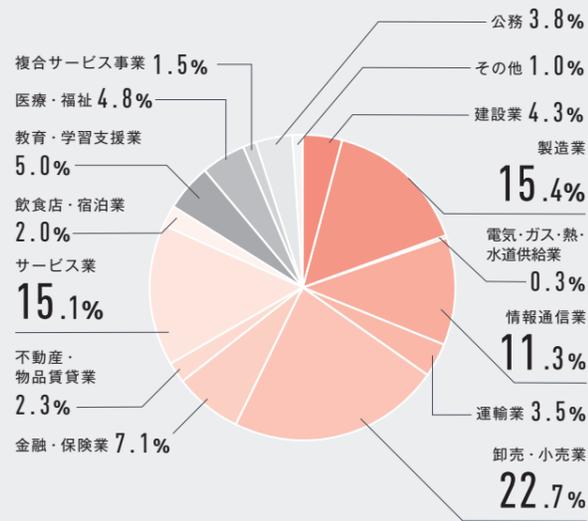
取得可能な受験資格

現代社会学科	健康スポーツ社会学科
■ NSCA-CPT 認定校特別認定試験	■ NSCA-CPT 認定校特別認定試験
■ JPSUスポーツトレーナー資格試験	■ JPSU-スポーツトレーナー資格試験

取得を推奨している資格

現代社会学科	健康スポーツ社会学科
■ 社会調査士	■ 学芸員
■ 図書館司書	■ NSCA-CPT (国際認定資格) 受験資格
■ 児童指導員(任用資格)	■ JPSU-スポーツトレーナー資格
■ 日本スポーツ協会公認スポーツ指導者	■ 日本スポーツ協会公認スポーツ指導者など

就職先 業種割合



2024年度実績

※就職先業種割合については、小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100%とならない場合があります。

就職先一例 (50音順)

アルペン	京都銀行	タカスタンダード	ヤクルト本社	国家公務員(農林水産省)
インダ	京都新聞社	タキイ種苗	山崎製パン	京都府警察本部
伊藤園	京都中央信用金庫	ニトリホールディングス	良品計画	高知県警察本部
ANA大阪空港	コナミスポーツ	久光製薬	ルネサンス	京都市消防局
亀田製菓	JR西日本	明治安田生命保険	ロクシタンジャパン	京都府庁
京セラ	創味食品	森永製菓	小学校教員(大阪府)	奈良県庁

学部トピックス

〈健康スポーツ社会学科〉「教員志望者」を強力サポート

保健体育の教員志望者のためのサポート体制を整えているのも、この学科の特長の1つです。学科の専門教育科目では「学校保健」や「運動生理学」など、中学・高校の教員免許取得に必要な科目が履修可能です。体育実技については教員採

用試験科目に対応した「保健体育授業指導実習」を開講しています。また「教員採用試験」の仕組みと内容をテーマにしたセミナーなども開催しており、教員志望者の進路を力強く後押しします。



ベトナムでの気づきが揺るぎない私の軸に。「自分らしさ」を諦めない

内定者

イケア・ジャパン株式会社 内定

阪上 かの香

現代社会学科 4年次(兵庫県立武庫荘総合高等学校出身)

Q. 進路を決めるうえで、もっとも重視したことは何ですか？

自分のアイデンティティを大切にすることです。プロジェクト演習で訪れたベトナムで、日本とは違う自由な働き方を目の当たりにし、「仕事の形は1つじゃない」と視野が広がりました。この経験を通して進路に対する軸が定まり、型にはまらず、自分らしく働ける環境を選びました。

Q. 周囲と違うスタイルで進路を決めることに、迷いや不安はありませんでしたか？

周囲がリクルートスーツを着て就職活動する中、新卒採用という枠にはまらない選考方法に不安はありました。それが吹っ切れたのは「経験こそが強みだ」と背中を押してくれた先生の言葉です。ありのままの自分を求めてくれる場所に挑む覚悟を決め、熱意を伝えることに集中しました。

学生時代の思い出



演習の一環でベトナムの市場調査を実施。身振り手振りでコミュニケーションを図り、温かく受け入れていただきました。未知を恐れず飛び込む度胸と、人と関わる楽しさを学んだ私の原点です。

・ INTERVIEW ・

関西電力株式会社 内定

内定者

堤 尚史

健康スポーツ社会学科 4年次(滋賀県立玉川高等学校出身)

Q. 京都産業大学を志望した理由を教えてください。

中学の担任の先生に憧れ、保健体育の教員を目指していました。本学を選んだのは、教員免許状の取得に加え、社会学の視点も交えて学べる点に魅力を感じたからです。学びを通して多くのことに興味を持ち、人とのつながりをより意識するようになったことで、幅広い視野と価値観が得られました。

Q. 就職活動に取り組む中で最も重視したのはどのような点ですか？

人から必要とされる存在を軸に就職活動を行いました。3年次に参加した就職ガイダンスで「さまざまな業界・業種も必ず調べて広い視野で取り組む」というアドバイスをいただき、知らない業界にも私の考え方にマッチする仕事があると、多様な視点で物事を捉えられるようになりました。

学生時代の思い出



子どもたちとキャンプに行くボランティア活動を体験しました。3年次にはチームの役割を与えられ、プログラムの作成や大学生ボランティアの指導的役割も任せられ、やりがいを実感できました。

多様な世界や考え方に触れ 新たな方向性が見えてきた

